

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
佐久間・水窪	23	後継者いない、担い手不在	R5.3.31
佐久間・水窪	23	荒地増	R5.3.31
佐久間・水窪	23	移住して就農	R5.3.31
佐久間・水窪	23	生業として成り立たない、稼げない	R5.3.31
佐久間・水窪	23	稼げるようにして人を呼び込む、しないと来ない	R5.3.31
佐久間・水窪	23	ブランド化できるような作物	R5.3.31
佐久間・水窪	23	コーディネーター必要	R5.3.31
佐久間・水窪	23	地道な動きコツコツと	R5.3.31
佐久間・水窪	23	相手へのアピール方法	R5.3.31
佐久間・水窪	23	情報が少ない、拡散されていない	R5.3.31
佐久間・水窪	23	急傾斜地多い、お金がかけられない	R5.3.31
佐久間・水窪	23	空いている茶工場あり	R5.3.31
佐久間・水窪	23	茶工場、畑、ノウハウ、販路まとめて渡せるが、相手(後継者)を探せない。マッチングできる方はいないか。	R5.3.31
佐久間・水窪	23	県公社で継承の事業がある	R5.3.31
佐久間・水窪	23	生産性を高めたい人もいれば環境を気に入る人もいる	R5.3.31
佐久間・水窪	23	いずれにしても外向きに情報が発信されていない	R5.3.31
佐久間・水窪	23	継承するのであれば荒廃する前に	R5.3.31
佐久間・水窪	23	担い手不足。後継者問題が切実	R5.3.31
佐久間・水窪	23	茶業経営が成り立たない時代、茶価の低迷	R5.3.31
佐久間・水窪	23	荒地農地の増加、引き受け手がない	R5.3.31
佐久間・水窪	23	販路等、情報の共有化を進めるべき	R5.3.31
佐久間・水窪	23	ITの活用が著しく遅れている	R5.3.31
佐久間・水窪	23	農業をやってくれる若い世代がいらない→他地域からの移住	R5.3.31
佐久間・水窪	23	急勾配のところが多く、農業がやりにくいため、畑、農道の整備	R5.3.31
佐久間・水窪	23	地元のを地元の人がもっと知れる環境づくり	R5.3.31
佐久間・水窪	23	受け継ぐ人材、特産作物	R5.3.31
佐久間・水窪	23	耕作をする労働力	R5.3.31
佐久間・水窪	23	地域で作る農林産物の収益アップ	R5.3.31
佐久間・水窪	23	新しい作物の開発(野菜と薬草)	R5.3.31
佐久間・水窪	23	地元の人に人が知る時を作る	R5.3.31
佐久間・水窪	23	ITの活用、コーディネーター、移住者とのコミュニティ	R5.3.31
佐久間・水窪	23	高齢化と後継者が無いといった地域で農地の荒廃が目立っている	R5.3.31
佐久間・水窪	23	数年前までそばを進め団体が取り組んでいるがいつまで続けることができるか	R5.3.31
佐久間・水窪	23	茶も生産農家が少なくなり植林が増えている。太陽光発電ばかりとなった。	R5.3.31
佐久間・水窪	23	担い手不足、地域に合った作物	R5.3.31
佐久間・水窪	23	荒れた茶園の利用が難しい。植林しても茶に負ける	R5.3.31
佐久間・水窪	23	この地域の気候に合った作物を探す。(忘れられている在来作物の掘り起こしも)	R5.3.31
佐久間・水窪	23	加工品の開発、地域の名物	R5.3.31
佐久間・水窪	23	若い世代がいらない、高収益、急勾配、茶価低迷、移住者、収益性のある作物(薬草)、ライフスタイル	R5.3.31
佐久間・水窪	23	茶工場(後継者)、IT、コーディネーター、パッケージ、里山(外向け発信)	R5.3.31
佐久間・水窪	23	担い手の育成	R5.3.31
佐久間・水窪	23	在来作物・有機茶・ワサビ等特産作物振興	R5.3.31
佐久間・水窪	23	農林業＋循環型農業を地域に	R5.3.31
佐久間・水窪	23	移住、基盤整備、PR、担い手、耕作放棄地、IT活用、ブランド作物、加工品。新しい作物、NPOいつまで続けられるか	R5.3.31

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
佐久間・水窪	23	地元にいると気づかない地域の魅力	R5.3.31
佐久間・水窪	23	どうしたら農業で生計を立てられるか、農業外収入、林業、コーディネーター	R5.3.31
佐久間・水窪	23	地区によって、順番に隣の茶畑が耕作地でなくなっていく	R2.12.21
佐久間・水窪	23	区協議会でコンパクトシティの話題が出たが、空いた地区はどうしていくのか疑問	R2.12.21
佐久間・水窪	23	この地域は条件的に機械化ができない	R2.12.21
佐久間・水窪	23	浦川地区は平坦で水田が多かったが、今はほとんどがソーラー用地になっている。	R2.12.21
佐久間・水窪	23	残された農家も茶の価格が低迷している。	R2.12.21
佐久間・水窪	23	担い手がなく心配だ	R2.12.21
佐久間・水窪	23	担い手、認定農業者少ない	R2.12.21
佐久間・水窪	23	新たな作物、名物になるものがあるとよいのでは	R2.12.21
佐久間・水窪	23	小さい農地や未相続地が問題となってくる	R2.12.21
佐久間・水窪	23	新しい担い手を外から呼び込む、地域内で育成していく必要がある	R2.12.21
佐久間・水窪	23	やはり新しい担い手が必要。山里いきいき隊などの活用も検討	R2.12.21
佐久間・水窪	23	自給農家が多い	R2.12.21
佐久間・水窪	23	人が入れ替わっても継続できる環境づくりが必要	R2.12.21
佐久間・水窪	23	かいこ、こんにやく、茶、葉物と過去から作目に関して工夫してきた	R2.12.21
佐久間・水窪	23	茶に関しては委託するとマイナスになってしまう。茶工場を持っていてぎりぎりの収支	R2.12.21
佐久間・水窪	23	みさくぼじゃがたなどの他に在来種が多いため可能性はあるのでは	R2.12.21
佐久間・水窪	23	人口減に伴い野生鳥獣による農作物被害が増加している	R2.12.21
佐久間・水窪	23	今やるべきことは未来にむけた環境の維持	R2.12.21
佐久間・水窪	23	集落農業で個々の離農から集落全体で取り組む必要がある。	R2.12.21
佐久間・水窪	23	担い手を外から呼び込む	R2.12.21
佐久間・水窪	23	茶園の更新がなく(木が古く)、品質が低下している。	R2.12.21
佐久間・水窪	23	共同工場減少している	R2.12.21
佐久間・水窪	23	農業経営としての農業は極めて少ない	R2.12.21
佐久間・水窪	23	田は自家消費	R2.12.21
佐久間・水窪	23	荒茶の価格は農協買取で5~6千円→現状は2千円を切っている	R2.12.21
佐久間・水窪	23	青梗菜などの施設野菜にも挑戦したが今はだめである。	R2.12.21